



## 令和2年度 専修学校関係予算（案）

（ ）は前年度予算額

## 専修学校教育の振興に資する取組 21.8億円（21.7億円）

## ●人材養成機能の向上

☆専修学校における先端技術利活用実証研究 3.5億円（新規）

専修学校における職業人材の養成機能を強化・充実するため、産学が連携し、実践的な職業教育を支える実習授業等においてVR・AR等の先端技術の活用方策について実証・研究する。

☆専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト 4.3億円（3.1億円）

「人生100年時代」にふさわしい多様なリカレント教育機会の充実を図るため、教育内容、教育手法、学校運営といった多面的な視点で、就職氷河期世代を含めた社会人向けリカレント教育を専修学校教育において総合的に推進する。

☆専修学校による地域産業中核的人材養成事業 9.6億円（12.7億円）

分野に応じた中長期的な人材育成に向けた協議体制の構築等を進めるとともに、これからの時代に対応した教育プログラム等の開発を行う。

〔・Society5.0等対応カリキュラムの開発 ・学びのセーフティネット機能の充実強化（高等専修学校の機能高度化）等〕

☆専修学校グローバル化対応推進支援事業 2億円（2億円）

専修学校に係る入口から出口までの総合的・戦略的な留学生施策の推進について、各地域における関係機関・団体との連携によるモデル体制を構築。

## ●質保証・向上

☆職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 1.6億円（1.6億円）

専修学校における研修プログラム開発や研修体制づくり等による教育体制の充実を図るとともに、先進モデルの開発等による職業実践専門課程の充実に向けた取組や教学マネジメントの強化の推進等を通じて、職業教育の充実及び専修学校の質保証・向上を図る。

☆専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業 0.5億円（0.5億円）

専門学校や高等専修学校が担う職業教育等の魅力発信力を強化するため、効果的な情報発信の在り方について検討・検証を行うとともに、専修学校の職業教育機能を生かした体感型の学習機会を提供した際の効果、連携に当たっての留意点を整理する。

☆専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業 0.3億円（1.7億円）

意欲と能力のある専門学校生が経済的理由により、就学を断念することがないよう、経済的支援及び修学支援アドバイザーによる就学支援を行い、施策効果等に関するデータを継続的に収集し、分析・検証を行い、その効果等について普及する。

## 専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組 5.3億円（5.3億円）

☆私立学校施設整備費補助金 3.0億円（3.0億円）

教育装置、学校施設等の耐震化工事、アスベスト対策等に係る経費を補助

☆私立大学等研究設備整備費等補助金 2.3億円（2.3億円）

情報処理関係設備の整備

## 専修学校への修学支援に資する取組 266億円（2.8億円）

☆高等教育（私立専門学校分）の修学支援の着実な実施（内閣府計上） 264億円（新規）

低所得世帯の真に支援が必要な子供に対する高等教育の負担軽減の実施に必要な経費

☆高等教育負担軽減実施体制整備費補助金 2.8億円（2.8億円）

高等教育の負担軽減の実施に向けて、私立専門学校に関する事務処理等を関係機関において適切に行えるようにするための体制整備に係る経費

## その他関係予算

○高等学校等就学支援金交付金（内数） 4,248億円（3,709億円）  
（私立高等学校授業料の実質無償化）

○高校生等奨学給付金（内数） 136億円（139億円）

○日本学生支援機構の奨学金事業（内数） 947億円（1,104億円）

○国費外国人留学生制度（内数） 186億円（186億円）

※ 国土強靱化対応における重要インフラ整備に関する経費については、専修学校も対象になっている。

※ 四捨五入の関係で、計数は合計と一致しない。